

スクール・サポート・スタッフ配置事業

義務教育課
特別支援教育課

1 事業目的

授業以外の諸業務を補助的に行うスクール・サポート・スタッフを学校に配置し、教員の負担軽減を図ることで、教員が児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制をつくる。

2 事業概要

(1) 役割

教員が行うことが期待される本来的な業務		左記以外の業務		
新たな教育課題への対応のために必要な業務	従来からの業務	専門スタッフが 行うべき業務	教員以外の職員が 分担することが 効果的な業務	地域人材等 が行える 業務
<ul style="list-style-type: none"> ● 通級指導等特別支援教育 ● 小学校英語等の専科指導 ● いじめ・道徳対応の強化 ● アクティブラーニングの視点からの授業改善 ● 特別支援学校のシラバスの作成 ● 障がいに応じた最新教材の研究・導入 	<ul style="list-style-type: none"> ● 授業・学習指導 ● 学級経営 ● 生徒指導 ● 学校行事 ● 外部の支援者との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもの心理的サポート ● 家庭環境の福祉的ケア ● 部活動指導 ● 福祉医療の専門スタッフによるサポート 等 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校図書館業務 ● ICT活用支援業務 等 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域連携業務 ● 指導補助的業務 ● スクールバス添乗 等

新たな課題への対応に必要な体制の充実が必要	これまでは教員が多様な業務を分担		
↓	↓	↓	↓
教員	専門スタッフ	スクール・サポート・スタッフ	信州型コミュニティスクール等
新たな教育課題への対応 授業・生徒指導に一層専念	スクールカウンセラー、部活動指導員、 スクールソーシャルワーカー、 図書館司書、ICT支援員、 ST・PT・OT・介護福祉士 等	印刷業務 集計業務 会計業務 採点業務 等補助	印刷業務、 登下校見守、 清掃活動・給食準備等支援
「チームとしての学校」における役割分担			

(2) 実施方法

① 配置対象校

【小・中学校】概ね通常学級数 13 以上の小・中学校を配置対象とする。
(令和 2 年度予定 小学校：98/359 校 中学校：51/184 校 計 149 校)

【特別支援学校】特別支援学校においては 3 校に配置する。

② 配置を希望する学校は、スクール・サポート・スタッフを活用した業務改善計画を提出する。 具体的な業務内容・方法については各校のコーディネーターが中心に決定していく。

③ 配置校に指定された学校には会計年度任用職員を 1 名配置する。

【勤務形態：1 日 4 時間、週 5 日、40 週勤務】

④ 配置校は、前年度同一時期の勤務時間の比較を行う中間報告及び取組の効果検証や学校職員などの声をまとめた実績報告書を義務教育課へ提出する。

3 令和 2 年度予算額 1 億 1668 万 5 千円